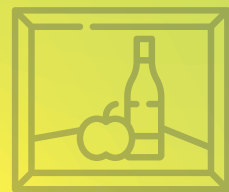




徳島県博物館協議会連携企画
2025年度



博物館 アワカルト 講座

「博物館アワカルト講座」とは、徳島県博物館協議会に加盟する全県 50 館園の学芸員による連携講座です。

幅広いテーマに多分野からアプローチした複数の講演で構成します。

講座名の「アワカルト」は、フランス語の「à la carte:一品料理・お好み料理」と、「阿波」を組み合わせた造語です。

複数のお好み料理を組み合わせるように、複数の講演をお楽しみください。

事前申込
不要
先着順

第1回 共通テーマ「生と死」

日時：2025 年 **5 月 17 日** (土)

会場：海陽町海洋自然博物館マリンジャム

- ❖ 竹ヶ島のサンゴの生と死
- ❖ 生と死への祈り
- ❖ クモの多様な生と死の世界

第2回 共通テーマ「文と武」

日時：2025 年 **6 月 1 日** (日)

会場：徳島県立文書館

- ❖ 武田神全塾・学問と交流
- ❖ 武士の「武」
- ❖ 篠崎小竹と大塩平八郎
—徳島藩家老稲田家ゆかりの大坂人—

第3回 共通テーマ「博物館の表と裏」

日時：2025 年 **8 月 30 日** (土)

会場：徳島県立博物館

- ❖ はじめての企画展『モンゴルのフィールドワーカー 鳥居きみ子』をふりかえる
- ❖ 『キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～』展について
- ❖ 脊椎動物展示の表と裏

第4回 共通テーマ「光と闇」

日時：2025 年 **10 月 5 日** (日)

会場：美郷ほたる館

- ❖ 「板東俘虜収容所」と捕虜政策の“光と闇”
—近代日本はいかに変わったのか？
- ❖ 光に逃げた夫と闇に残された妻
—考古学的視点でみる黄泉の国神話—
- ❖ 光と闇に生きる昆虫

徳島県博物館協議会 (徳島県立博物館内)

〒770-8070 徳島市八万町向寺山 (文化の森総合公園)

Tel: 088-668-3636 Fax: 088-668-7197 <https://museum.bunmori.tokushima.jp/tokuhakukyo>



第1回 共通テーマ「生と死」

生死

日時 2025年 **5月17日** (土)
13:30 ~ 16:00 (開場 / 13:00 ~)

会場 **海陽町海洋自然博物館 マリンジャム**

〒775-0513 海陽町穴喰浦字竹ヶ島28-45
TEL: 0884-76-3100

定員 **50名** (事前申込不要 / 先着順)

参加費 **無料**



竹ヶ島のサンゴの生と死

木村 素子氏 (海陽町海洋自然博物館 マリンジャム)

生と死への祈り

大塩 啓一郎氏 (徳島県立博物館)

クモの多様な生と死の世界

鈴木 佑弥氏 (徳島県立博物館)



第2回 共通テーマ「文と武」

文武

日時 2025年 **6月1日** (日)
13:30 ~ 16:00 (開場 / 13:00 ~)

会場 **徳島県立文書館 講座室**

〒770-8070 徳島市八万町向寺山
TEL: 088-668-3700

定員 **40名** (事前申込不要 / 先着順)

参加費 **無料**



武田神全塾・学問と交流

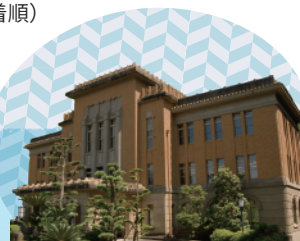
金原 祐樹氏 (徳島県立文書館)

武士の「武」

根津 寿夫氏 (徳島市立徳島城博物館)

篠崎小竹と大塩平八郎

—徳島藩家老稲田家ゆかりの大坂人—
松永 友和氏 (徳島県立博物館)



第3回 共通テーマ「博物館の表と裏」

表裏

日時 2025年 **8月30日** (土)
13:30 ~ 16:00 (受付 / 13:00 ~)

会場 **徳島県立博物館 講座室**

〒770-8070 徳島市八万町向寺山
TEL: 088-668-3636

定員 **50名** (事前申込不要 / 先着順)

参加費 **無料**



はじめての企画展『モンゴルのフィールド
ワーカー 鳥居きみ子』をふりかえる

小林 篤正氏 (徳島県立鳥居龍蔵記念博物館)

『キミに夢中♡～学芸員のおしごとと
愛しき人間像コレクション～』展について

久米 千裕氏 (徳島県立近代美術館)

脊椎動物展示の表と裏

井藤 大樹氏 (徳島県立博物館)



第4回 共通テーマ「光と闇」

光闇

日時 2025年 **10月5日** (日)
13:30 ~ 16:00 (開場 / 13:00 ~)

会場 **美郷ほたる館 多目的ルーム**

〒779-3501 吉野川市美郷宗田 82-1
TEL: 0883-43-2888

定員 **40名** (事前申込不要 / 先着順)

参加費 **無料**



「板東俘虜収容所」と捕虜政策の“光と闇”

—近代日本はいかに変わったのか？

長谷川 純子氏 (鳴門市ドイツ館)

光に逃げた夫と闇に残された妻

—考古学的視点でみる黄泉の国神話—

村田 昌也氏 (徳島市立考古資料館)

光と闇に生きる昆虫

外村 俊輔氏 (徳島県立博物館)

